

# 太陽インキ製造株式会社（東京都練馬区）

～情報機器の革命に「レジストインキ」で貢献～

## 1. レジストインキで事業転換

太陽インキ製造株式会社は、昭和28年に印刷インキ及び関連資材製品の製造販売会社として設立され、昭和51年、電子産業界向けの「レジストインキ」を主力製品に据えて事業の方向転換を図った企業である。

「レジストインキ」は、電子機器の心臓部で活躍するプリント配線板を正しく機能させるもので、ほこりや熱、湿度などから回路を保護すると同時に、絶縁体としても機能し、プリント配線板の製造に不可欠である。また、その種類は数百種に及び、用途やユーザーニーズに応じて様々なタイプが開発されている。

同社では、用途やニーズだけでなく、対応の迅速性にも注力し、積極的な技術革新と新製品の提供を目指している。

## 2. 充実した研究開発環境

レジストインキの国内外における高いシェアは、同社の積極的な技術開発活動の賜物である。研究開発拠点である嵐山事業所には、最新鋭の各種塗布装置、実験装置、合成装置、分析・測定機器、環境試験器などが揃っており、技術者たちは、充実した研究開発環境の中で、常に新しい知識を吸収しながら、より高度で完成度の高い製品づくりに励んでいる。こうした研究開発の成果として、アルカリ現像型ソルダーレジストインキの基本特許を始め、多くの特許を取得している。

## 3. 活気のある知財法務室

知財を管理する部署として知財法務室が置かれている。同室は、立ち上げ後6年になるが、当初2名だった室員も今では8名体制となり、特許の権利行使関係、契約一括集中管理、ライセンス契約におけるトラブル対応、模倣品対策、商標問題、知財に関する社内の風土作り、社内意識改革など知財に関する業務を一手に担っている。メンバーは、過去に大手の企業で知財を担当していた職員や若手の弁理士など様々で、活気にあふれている。

現在の社長は初代の知財法務室長であり、社長の知財への理解は深く、また知財法務室は役員直結の組織であるため、特許関連の迅速性を要する案件等においても、非常に早い判断がなされる。

また、特許取得については、「取りたい特許」・「権利行使しやすい特許」を取っているか、「審査に通りやすい特許」となっていないか、という観点を常に意識しており、アウトソーシングすべきものはアウトソーシングし、自社出願は案件毎にメリットとリスクを考慮して推進している。

海外への出願も行っており、特許の権利化や訴訟対応として各国2カ所程度の連携拠点を置き、主要国については、特許と商標の調査体制も整備している。翻訳にも工夫を凝ら

しており、外国出願の費用削減につながっている。

#### 4. これからも技術を活かして

同社は、プリント配線板業界はIT革命によりますます拡大すると見込んでおり、情報をいち早くキャッチし、国ごとの市場動向にリアルタイムに対応できる体制を整備するとともに、今後も、よりよい技術で社会に貢献することを目指している。

#### ●保有権利に基づく製品例



アルカリ現像型ソルダーレジストインキの基本特許を実施した製品。



パソコンのCPU、メモリーといった半導体を実装するための中間板となる基板に使用するソルダーレジスト。高付加価値且つ高機能製品に該当。



プラズマディスプレイ・パネル用部材のうち、プラズマテレビの電極用の導電ペースト。

#### ●会社概要

名称及び代表者名	太陽インキ製造株式会社 代表取締役 釜范 裕一
本社所在地	東京都練馬区羽沢2丁目7番1号
創業	1953（昭和28）年
資本金	61億3,400万円
従業員数	316名
主要製品	レジストインキ
電話	03-5999-1511
URL	<a href="http://www.taiyoink.co.jp/">http://www.taiyoink.co.jp/</a>